

平成 24 年 2 月 29 日

## 瀬戸内エコツーリズム・フォーラム 2012 開催報告書

瀬戸内海エコツーリズム協議会事務局

2月25日、瀬戸内ツーリズム推進協議会は、「瀬戸内エコツーリズム・フォーラム 2012」を開催いたしました。このフォーラムは、瀬戸内海地域の自然環境資源保全と地域活性化を実現するための有効な手段であるエコツーリズムについて、地域の方々たちと共に考える機会として企画したものです。当日の会場には、エコツーリズムに関心を持つ様々な立場の方々、80名が集まりました。

冒頭、瀬戸内ツーリズム推進協議会の上嶋英機 会長の主催者挨拶につづき、環境省中国四国地方環境事務所の藤森貞明 統括自然保護企画官よりフォーラム開催の祝辞をいただきました。

フォーラム第1部の基調講演では、「地域を元気にするエコツーリズム」と題して、NPO 法人日本エコツーリズムセンターの広瀬敏通 代表理事により、エコツーリズムが地域にもたらすメリットやエコツーリズム推進のポイントなどについて語られました。

つづく、瀬戸内ツーリズム推進協議会の上嶋英機 会長による講演では、瀬戸内海エコツーリズム協議会が中心となって企画・開発している各種のエコツアーが紹介されたほか、エコツーリズムにおける人材育成の重要性について語られました。

また、NPO 法人砂浜美術館の村上健太郎 事務局長の講演では、地域における取組の実践例が示されました。

フォーラム第2部のパネルディスカッションでは、広瀬、村上両氏に、NPO 法人自然環境ネットワーク S A R E N の金山芳之 副理事長、環境省中国四国地方環境事務所の藤森貞明 統括自然保護企画官を加えた4氏がパネリストとなり、上嶋英機 会長のコーディネートのもと、地域の現状や人材育成を進めるうえでの課題などについて活発な議論が展開されました。

さいごに、広島県地域政策局海の道プロジェクト・チームの森永智絵 担当課長より閉会のお言葉をいただき、盛況のうちに幕を閉じました。

報告：野村 公平（総合技研株式会社 環境事業部）



上嶋会長による主催者挨拶



広瀬代表理事による基調講演



村上事務局長による講演



パネルディスカッションのようす



会場のようす

## 開催概要

開催日：平成24年2月25日（土）13：30～16：30（開場13：00）

会場：広島YMCAホール本館404号室（広島市中区八丁堀）

参加者：80名

主催：瀬戸内ツーリズム推進協議会

【構成団体】 広島県（地域政策局海の道プロジェクト・チーム）、呉市（環境部環境政策課）、廿日市市（環境産業部観光課）、瀬戸内海エコツーリズム協議会

後援：環境省中国四国地方環境事務所、中国新聞社、学校法人鶴学園広島工業大学、IWA D環境福祉専門学校、認定NPO法人自然環境復元協会、NPO法人日本ビオトープ協会、ひろしま環境再生医の会

協力：NPO法人日本エコツーリズムセンター

## プログラム

### オープニング

開会挨拶 上嶋 英機（瀬戸内ツーリズム推進協議会 会長）

来賓挨拶 藤森 貞明（環境省中国四国地方環境事務所 統括自然保護企画官）

### 第1部

基調講演「地域を元気にするエコツーリズム」

広瀬 敏通（NPO法人日本エコツーリズムセンター 代表理事）

講演「瀬戸内海におけるエコツーリズムの構築に向けて」

上嶋 英機（瀬戸内ツーリズム推進協議会 会長）

講演「まちをたのしむsunabi旅行」

村上 健太郎（NPO法人砂浜美術館 事務局長）

### 第2部

パネルディスカッション

「瀬戸内海エコツーリズム振興のための人材育成と地域活性化への取り組み」

コーディネーター：上嶋 英機（瀬戸内ツーリズム推進協議会 会長）

パネリスト：広瀬 敏通（NPO法人日本エコツーリズムセンター 代表理事）

村上 健太郎（NPO法人砂浜美術館 事務局長）

金山 芳之（NPO法人自然環境ネットワークSAREN 副理事長）

藤森 貞明（環境省中国四国地方環境事務所 統括自然保護企画官）

### クロージング

閉会挨拶 森永 智絵（広島県地域政策局海の道プロジェクト・チーム 担当課長）